

2026年12月期 第2四半期 決算サマリー

株式会社Photosynth | 東証グロース市場 (4379) | 2026年8月13日発表

- 売上高は四半期単独で過去最高を更新 (YoY +32.3%と再加速)
- 営業利益は対通期ガイダンス比 72.4% と大幅に上振れて進捗
- ARPUは過去最高を更新、Churn Rateも良好な水準を維持

2Q 業績ハイライト (前年同期比)

売上高

1,033 百万円
前年同期比 +32.3%

売上総利益

741 百万円
前年同期比 +23.1%

調整後EBITDA

192 百万円
前年同期比 +65.7%

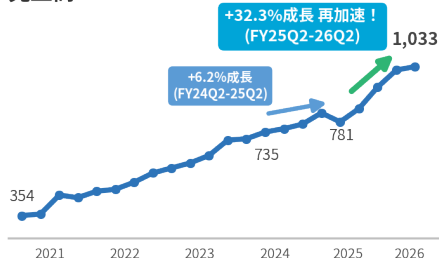
営業利益

80 百万円
前年同期比 +61.9%

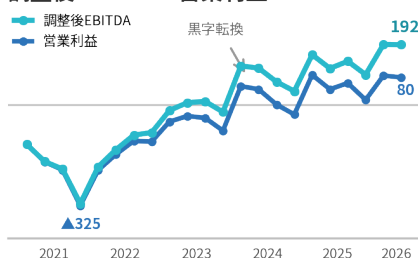
親会社株主に帰属する四半期純利益：81百万円 (前年同期比 +18.8%)

四半期業績の推移 (百万円)

売上高



調整後EBITDA・営業利益



通期ガイダンスに対する進捗

売上高

50.5%

計画 4,062百万円

調整後EBITDA

53.7%

計画 720百万円

営業利益

72.4%

計画 240百万円

※ バー内の縦線は標準進捗 (50%) の位置を示す

KPI ハイライト (2Q時点)

ARR

35.0 億円
前年同期比 +15.5%

ARPU

50,542 円
+13.4% 過去最高を更新

Churn Rate (解約率)

0.87 %
引き続き良好な水準を維持

契約社数

5,755 社
リカーリング売上比率 84.2%

上期トピックス

1 マーケット開拓：Akerunの加速度的拡大

光通信グループの各社と販売パートナー契約を締結し、同グループ経由の受注も順調に推移。大手企業での導入や全国展開の施設での採用が加速。

2 ソリューション開発：パッケージ化でクロスセル

Akerun×Migakun×fixUの複合導入が好調。無人化・省人化パッケージへの高まるニーズを今後も取り込む。デジタル身分証/学生証などソリューション連携も続々と拡大し、教育・商業施設など様々なユースケースに対応。

3 新インダストリー創出：フィジカルAI開発

AWSジャパンの「フィジカルAI開発支援プログラム」に採択され、研究開発を加速。研究開発拠点「Photosynth Physical AI Lab」が開設・稼働開始し、AIを含む開発体制を強化。

中期経営計画（2026-2028年）の目標

売上成長率

20～30%

FY28 売上

58～75 億円

FY28 調整後EBITDA

11.6～15 億円